

唐津市立佐志小学校研究主題

# 思いや考えを認め合い、高め合う児童の育成

～自分の思いや考えを表現できる算数科指導方法の工夫～

## 1 主題設定の理由

本校は、令和5年度から「思いや考えを認め合い、高め合う児童の育成」という研究テーマのもと、児童が「考えたい」「学びたい」と思える課題の設定や数学的な活動の工夫、問題解決に向けた個人思考の場と主体的・協働的に伝え合う活動の充実に向けて取り組んできた。単元計画を児童と立てることで、単元全体に見通しをもって学習に臨んだり、意欲を持続させて粘り強く課題に取り組んだりする姿がみられるようになった。また、思いや考えを伝え合う活動を充実させてきたことで「わからないことがわかった」「考えの違いに気づいた」「自分の考えがかわった」と伝え合う活動の有用性を実感する児童が増えた。

その一方、図や式など、自分の考えの根拠となるものを明確にしたり、算数的な表現を用いたりして説明することができず、伝え合う活動に対して自信をもったり、満足感を得たりすることができなかった児童もいた。また、より有意義なGWにするためのグループピングのあり方が課題となった。

そこで、今年度は児童が自分の思いや考えを明確に表現できるよう、個人思考の場における手立てを工夫したり、より主体的・協働的な伝え合う活動となるような場の設定の工夫をしたりすることで、互いの考えを知り、認め合いながら算数的活動の楽しさに気付いたり、自らの高まりを実感したりできる児童の育成を目指したい。

## 2 研究の目標

児童が積極的に互いの考えを知り、認め合い、自らの高まりを実感することができるような算数科指導方法を探る。

## 3 研究の仮説

算数科の授業実践において、次のような手立てを取れば、見通しをもって解決の手段を選択し、主体的に表現するとともに、考えの良さを認めて高め合うことができる児童の育成ができるであろう。

- (1) 学ぶ意欲をもち続けることのできる学習課題と数学的活動の工夫
- (2) 個人思考の場と主体的・協働的な伝え合う活動の充実
- (3) 振り返りによる学びの自覚化
- (4) 基礎基本の定着

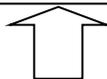
#### 4 研究内容与方法

- (1) 学ぶ意欲をもち続けることのできる学習課題と数学的活動の工夫  
 児童が「考えたい、学びたい」と思える課題の設定・単元づくり（ラーニングマウンテン）
- (2) 個人思考の場と主体的・協働的な伝え合う活動の充実  
 児童が解決する手段を選択し、思いや考えを表現するための手立ての工夫  
 …学んだことをストックし、活用するための工夫 考えを構築するための手立て  
 話し合い活動（ひとみタイム）の充実…グループピングの工夫 話型・思考ツールの見直し  
 学びを広げ深めるためのコーディネート…「さし人学習」の見直し ノートと板書の工夫  
 一人一台端末の効果的な活用
- (3) 振り返りによる学びの自覚化  
 学びを自覚できる効果的な振り返りのポイントの設定
- (4) 基礎基本の定着  
 スキルタイムの充実  
 資料・掲示物等の充実（算数言葉・説明言葉・図等の系統的指導資料作成）

#### 5 年間計画

月	内 容
5/7（水）	・校内研究① 今年度の校内研究計画提示
6/4（水）	・校内研究② 小中連携（佐志中参観）
7/2（水）	・校内研究③ 指導案形式提案
7月中旬	・児童アンケート実施（1回目）
7/24（木）	・校内研究④ G研日時，単元検討
8/21（木）	・校内研究⑤ 指導案検討会（学年G）
9/3（水）	・校内研究⑥ 指導案検討会（学年G）
9月～11月	・校内研究⑦ 低中高でG研授業（各学年から1回，学Rから1回）
12月中旬	・児童アンケート実施（2回目）
12/24（水）	・校内研究⑧ 研究のまとめ提案 次年度の校内研におけるアンケートの実施 児童アンケート考察
1/28（水）	・校内研究⑨ 研究のまとめ作成
2/25（水）	・校内研究⑩ 今年度の成果と課題の確認 次年度の校内研の検討

学校教育目標 「わたしらしく あなたらしく 輝くさしっ子」  
～気づき・考え・実行する子どもの育成～



研究主題 「思いや考えを認め合い、高め合う児童の育成」  
～自分の思いや考えを表現できる算数科指導方法の工夫～

研究目標 児童が積極的に互いの考えを知り、認め合い、自らの高まりを実感することができるよう  
な算数科指導方法を探る。

### 【めざす児童像】

課題と向き合い、主体的に交流してよりよい解決方法を見出すとともに、自分や友達の考えの良さを認めて高め合うことができる児童

- ① 単元・本時の見通しをもち、ねばり強く協働的に課題解決に向かおうとする児童
- ② 自分や友達の考えの良さを認め、互いの考えを広げ深めることができる児童
- ③ **数学的な活動**の良さや数学の良さに気付くことができる児童

事象を数理的に捉えて、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行すること。

### 【組織】

研究推進委員会（校長，教頭，教務，研究主任，低中高グループ代表，特支代表）

まなび部 加山，前川，大和，田和，藤田，（田川）

#### 【低学年グループ】

井本，前川，小石  
尾島，大和，池田

#### 【中学年グループ】

田和，藤田，草場，加茂  
里口，門川，坂本

#### 【高学年グループ】

本田，麻生，山田  
加山，川橋，田川